

石川県 農業職 職員採用ガイド

- 2024 -



業務紹介

農業行政

農業に関する施策の企画立案や実施を通じ、**県内農業の発展に努めています**

- ・ 県産農産物の生産拡大、品質向上の支援
- ・ 県産農産物のブランド化、販売促進、地産地消の推進
- ・ 担い手や新規就農者等の育成、農業への参入に対する支援 等



◀東京駅での
県産食材PRイベント



主任技師 伊達 彩香
所 属：ブランド戦略課
入庁年：平成25年度

県が開発したオリジナル品種の「ルビーロマン」や「加賀しずく」、「エアリーフローラ」の**プロモーションや県産食材の販路開拓を担当しています。**

施策の立案やイベント運営を通して、特色のある様々な県産食材の魅力を直接発信でき、**やりがいを感じられる業務です。**

普及指導

直接生産者に接して、**農業技術の普及指導や経営向上の支援を行っています**

- ・ 新技術や新品種の生産現場への導入に向けた指導
- ・ 地域の気候や風土に適した農産物の産地育成
- ・ 新規就農者に対する技術・経営指導 等



▲現地ほ場での栽培講習会



▲センシング技術を活用した栽培技術指導



主 幹 須田 甚将
所 属：石川農林総合事務所
入庁年：平成19年度

果樹担当の普及指導員として、県オリジナルなし品種「加賀しずく」をはじめ、**果樹の生産技術の高度化、新規就農者の確保・定着、産地活性化等を支援しています。**

行政・研究・関係機関の架け橋となり、**農業者に直接接し、もの・人・地域づくりに取り組む、仕事の幅広さが魅力です。農業者の課題を解決し、喜びを分かち合う瞬間は格別です。**

試験研究

生産現場の課題解決に向け、**新技術や新品種の開発・育成を行っています**

- ・ 消費者及び生産者のニーズを捉えた新品種の開発
- ・ 省力・低コスト技術や品質向上技術の開発
- ・ 効果的な病害虫防除法や農産物加工技術の開発 等



▲ドローンによる空撮



▲生育調査



技師 早川 侑花
所 属：農林総合研究センター
入庁年：令和2年度

野菜の栽培技術に関する研究を担当しています。**ドローンや機械収穫機などの新しい技術について、石川県の農業に役立てることができるよう、研究を行っています。**

普及指導機関と連携して、**生産者の所得向上や新規の農業参入に繋がりたいと考えています。**

石川県の 特徴的な取組

特色ある農産物のブランド化

石川県は農業算出額が全国43位と規模は大きくないものの、品質の高い優れた農産物が多くあります。また、平成27年3月の北陸新幹線開業を契機に、食を求めて多くの観光客が石川県に訪れるようになりました。そこで、生産量は少なくとも品質で差別化できる農産物を育てるため、特色ある県産農産物のブランド化に、生産者やJA等の関係機関と一丸となり取り組んでいます。



百万石乃白

県が11年の歳月をかけて開発した酒米の新品種。すっきりとした味わいのフルーティーで香り高い日本酒を造ることができ、削っても割れにくいことから大吟醸に適する加工適性の高さが特長です。

ルビーロマン

石川県オリジナル品種のぶどう。「巨峰」の約2倍という国内品種では最大級の粒の大きさと、鮮やかな赤色の果皮が特徴です。

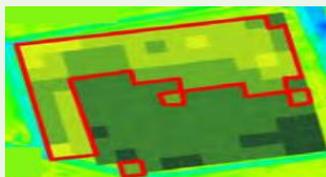


最先端技術を活用した石川型スマート農業技術の推進

栽培や経営といった農業の各分野で、AIやIoT技術を活用したスマート農業技術の開発・社会実装を進め、作業の省力化や効率化、収益性向上に向けた取組を支援しています。また、スマート農業技術のマッチングから技術の定着までの支援に取り組んでいます。

画像データ活用

ドローンや衛星画像を用いてこれまで勘や経験で判断していたことを「見える化」することで、作業の効率化や低コスト化を実現



※色の薄い部分（生育の悪いところ）のみ肥料を散布

ニーズに応じたほ場のデザイン

農業者自らが農業ブルドーザを活用し、ほ場の大区画化や均平化など、ほ場を使いやすく改良することで、生産性の高い農業を推進



◀ほ場の大区画化（畦倒し）



ICT機能による簡易な農地改良（均平化）▶

生産工程の効率化

生産管理手法や作業データを活用して作業現場の「ムリ・ムラ・ムダ」を解消し、農業経営の生産性、収益性を向上

「ムリ・ムラ・ムダ」の見える化



水田園芸や環境保全型農業の推進

水田での園芸品目の作付けを推進し、農業者の所得向上に取り組んでいます。また、農業を持続性のある産業としていくため、環境負荷軽減技術を検証し、環境保全型農業への転換を進めています。

水田園芸の推進



◀たまねぎ拾い上げ機

乗用培土機での白ねぎの土寄せ▶



環境保全型農業の推進



▲有機（稲わら）のすき込み

機械除草による除草剤の削減▶



▲マルハナバチを利用したトマトの交配



メッセージ

配属先によってさまざまな業務がありますが、分からないときは先輩や上司が丁寧に教えてくださるので、些細なことでも気軽に相談し、安心して働くことができます。

また、福利厚生も整っているので、子育てや趣味などと両立している職員もたくさんいます。ぜひ一緒に、石川県の農業を盛り上げていきましょう♪



子育てしやすい環境

福利厚生はもちろん、先輩ママ職員がたくさんいるので、ママにとっても働きやすい職場です。



仕事と趣味の両立

有給休暇やリフレッシュ休暇制度などを利用して、趣味や遊びも満喫しています。



＼お待ちしております！／

農業職に関するQ & A

Q：農学系学部出身ではないですが、採用に不利になりますか？

A：採用は人物重視ですので、出身学部は関係ありません。
農学系学部以外（理学部、教育学部等）の出身でも活躍している先輩は大勢います。

Q：農業に関する知識に自信がなく、採用後が心配ですが、大丈夫ですか？

A：大丈夫です！新任普及指導員の研修やOJT研修等の研修体制が整っている他、日々の仕事の中でも多くのことが学べます。

Q：農業職になるため、しておくべきことはありますか？

A：日々の生活の中でも農業の知識を学ぶことはできますので、日頃から新聞やテレビニュース等で世の中の動きを知り、新しい情報を得る習慣をつけると良いと思います。

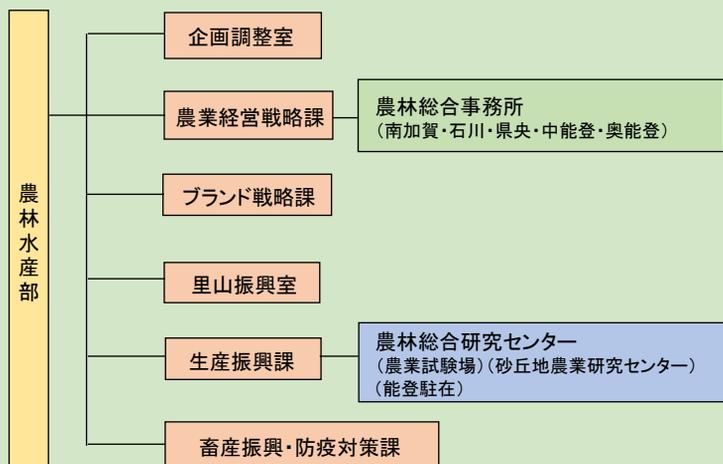
Q：女性職員はいますか？

A：男女関係なく採用してまいりますので、多くの女性職員が活躍しています。
また、出産や育児の休業制度や復帰後のサポートも充実しておりますので、女性も働きやすい職場です。

農業職の主な配属先

農業職の仕事内容は配属先によって大きく異なり、主に農業行政は本庁、普及指導は農林総合事務所、試験研究は農林総合研究センターで行われています。

配属先は、毎年人事担当との面談等を通じて本人の希望や特性等を考慮して決まり、通常2～3年程度のサイクルで異動します。



※R6.4.1時点
※人事交流等で上記以外の部署に配属される場合があります

待遇・採用試験案内等 (R5.4.1 時点)

初任給 (給料月額+地域手当)

- ・大学卒業程度 約202,600円
- ・高校・短大卒業程度 約172,000～約181,700円

※上記の金額は、金沢市内勤務で地域手当が加算されたものです。今後、人事委員会勧告により改定されることがあります。
※学校卒業後、職務経験など一定の経歴がある場合は、所定の金額が加算されます。
※職種によっては、研究職などの給料表が適用され、上記と異なります。

諸手当

期末手当・勤勉手当、扶養手当、通勤手当、住居手当、農林漁業普及指導手当(有資格者)、職務の特殊性に応じた特殊勤務手当などがそれぞれの支給条件に応じて支給されます。
※採用後に普及指導員の資格取得に向け、手厚い研修や指導が受けられます。

勤務時間

原則として、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分までとなっています。

休日

勤務の場所や内容によって異なる場合がありますが、原則として土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)が休みとなっています。

休暇等

年次有給休暇(年間20日、最大40日。ただし採用1年目は15日)のほか、特別休暇(夏期休暇、結婚休暇、出産休暇など)、介護休暇、育児休業制度などがあります。

農業職の業務に関する
お問い合わせ

石川県 農林水産部 生産振興課
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1
TEL : 076-225-1621
FAX : 076-225-1624

採用に関する
情報・お問い合わせ

石川県人事委員会
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1
TEL : 076-225-1871
FAX : 076-225-1872